

# 生きる仲間

昭和48年1月13日 第3種郵便物認可  
H・S・K通巻343号

- 発行日 平成12年10月10日  
(毎月10日発行)
- 発行責任者 鈴木 啓三
- 編集 札幌腎臓病患者友の会  
札幌市東区北18条東1丁目  
喫茶クインテス内
- 発行所 北海道身体障害者団体  
定期刊行物協会

## 腎提供者拡大街頭キャンペーン

好評 炊事遠足～滝野でワイワイ～●



〈炊事遠足でのゲーム大会〉

撮影 佐藤 功

札幌腎臓病患者友の会



# 腎提供者拡大街頭キャンペーン



市立札幌病院の平野先生もマイクを握り



次々とマイクをとり、市民にアピールしました

札幌市民の皆様、私たちは腎臓病の患者団体です。

平成一二年から毎年一〇月を厚生省が「臓器移植推進月間」と定めその一環としてひと足早くこの場をお借りし「腎提供者拡大街頭キャンペーン」を展開しております。

本日ここには北海道庁、札幌市、北海道腎臓バンク、日本臓器移植ネットワーク北海道ブロックセンター、市立札幌病院、スノーライオンズクラブ、エルムライオンズクラブ、北海道腎移植者協議会、北海道難病連、以上九団体の皆様と私たち腎臓病の患者と家族が参加しております。

この腎提供者拡大キャンペーンは昭和五六年より毎年実施しており、今年で二〇回目となります。平成九年一〇月に臓器移植法が施行され脳死者からの臓

器移植が可能となって以来現在まで全国で八例行われこの七月には市立札幌病院でも北海道では初めて五〇歳の男性に移植され、先日この男性は一〇数年続けてきた人工透析から開放され社会復帰されました。長年移植を待ち望んでいる患者にとって希望の光となりました。

人工透析は、腎臓病等で機能を失った腎臓の代わりに人工腎臓装置を使用し体内から不要となった毒素、水分等を除去する治療法です。

この治療法は、生涯治療を続けなければなりません。人工透析の技術も進歩し健康な方に近い生活が送れるようになりましてが、現在の技術でも一回四時間週二回の治療や長期透析の為に起きる合併症等様々な問題を抱えています。この状態を抜け出すには腎臓移植しかありません。

私たち仲間にも腎臓移植を希望する人がたくさんいます。一人でも多くの腎不全患者が人工透析から開放されるためには、多くの人の善意による腎臓が必要で、そのため腎臓移植に対するご理解をお願いいたします。

今お配りしています「意志表示カード」は臓器移植法施行にともない臓器を提供していただく意志を確認するため欠かせない大切なカードです。

腎臓・すい臓・眼球に限って申しますと心臓死後でも提供可能ですので脳死からはできないが心臓死後であればという方がおられましたら「意志表示カード」にご自分の意志で該当する欄に必要事項を、ご記入の上、携帯してくださるようお願い申し上げます。

(アピール文)



ワンちゃんも参加しました



小雨の中、血圧測定も

# 腎提供者拡大街頭キャンペーン参加者

ご協力ありがとうございました

腎バンク登録者拡大街頭キャンペーン参加者敬称を略させていただきます。平成12年9月10日

●北海道庁保健福祉部業務課

遠藤 隆司

●札幌市地域保健課

佐々木 功

●日本臓器移植ネットワーク北海道ブロックセンター

大須田浩輔

●北海道腎臓バンク

宮崎 正明 横山寿美子

西村 勝世

●市立札幌病院腎移植科

平野 哲夫 鳥潟都志子

●北海道難病連

小田 隆

●札幌スノーライオンズクラブ

清水 克美 前田 哲男

菅原 實 吉田 稔

名越 茂 宮本 益雄

堀籠 義一 松井 務

●札幌エルムライオンズクラブ

向井 一洋 山本 俊機

桜井 輝治 佐々木隆一

戸澤 眞 西田 親文

額村 重信 吉田 博一

中村 毅 福田 幹夫

樋口 雄幸 水口 武

柴田 憲秀 杉本 寿光

倭 雅則

●北海道腎移植者協議会

小田 憲司(ご家族)

松浦 信博 馬場 伸市

小笹 幸彦 鴻上 洋子

●稻積公園駅前クリニック

沢田 英子

●いのけ医院

佐藤 朱美

●うえと医院

柳沼 正一

佐々木潤子

●北三条泌尿器科クリニック

宮本 好和 等原 澄子

●清田泌尿器科

木村 仁一

●勤医協中央病院

西田富美子 木谷 憲男

●光星泌尿器科医院

佐藤 功 津田 靖典

石井 典子

●札幌北クリニック

村本 徳雄 高橋 幹子

正岡 正由 金丸 洋子

武藤 基 久原 幸江

●札幌東クリニック

佐々木美智子

●札幌北検病院

新井 静子 畠山 正子

松浦 涼子 中山 蓉子

原田美智子 児玉 弘子

佐々木洋子

●佐藤医院

今 武雄 大西 百恵

渡辺 恵理 松井由出子

●仁愛会外科クリニック

中崎美津子

●仁檢会病院

澤内 繁雄

●中野医院

新山 正紘 福原真理子

●はまなす外科医院

田中 孝幸

●南一条病院

岩館 二男 二上留美子

●宮の森記念病院

川村 隆志

●渡井医院

岩崎 薫 岩崎 紀威

佐藤 範子 近藤 眞江

●賛助会員

留目 恭子



# 道の医療費補助率下げで札幌腎友会も 道腎協の請願署名活動に取り組む

今年二月一七日の道新の朝刊に、道が地方自治体に補助をして  
いる医療費を五年間で五〇%まで  
引き下げる。また平成一三年度よ  
り、医療費補助対象者に所得制限  
を導入するという記事が掲載され  
ていました。

地方自治体が医療費を補助して  
いるのは、乳幼児、母子家庭、老  
人と私たちと直接関係のある重度  
心身障害者の四つであり、これま  
でこの事業に道は市町村の財政力  
に応じて、六〇%と六六・七%の  
二段階に補助率を設定していた

が、道の危機的財政と他府県のほ  
とんどが五〇%以下であることか  
ら、踏切ったといえます。  
すでに道はこの四月から三%の  
引き下げを実施しており、今のと  
ころ患者への負担を始めた自治体  
はありませんが、財政的に厳しい

## 道、医療費補助率下げ

### 市町村対象 5年後に一律50%

新年度から

道は十六日までに、乳幼 児や老人、重度心身障害者、 母子家庭を対象に市町村が 実施している医療費補助制 度について、現行六割程 度の補助率を二〇〇年度 から五年間で五割まで引き 下げる方針を固めた。また 二〇〇一年度までに所得 制限を導入する方向で検討	道は十六日までに、乳幼 児や老人、重度心身障害者、 母子家庭を対象に市町村が 実施している医療費補助制 度について、現行六割程 度の補助率を二〇〇年度 から五年間で五割まで引き 下げる方針を固めた。また 二〇〇一年度までに所得 制限を導入する方向で検討	四種類の医療費は道内の 二百十市町村すべてで支 給しており、道の補助率は 現在、市町村の財政力に 応じて六〇%と六六・七% の二段階に設定されている	補助率の引き下げは、い ては、危機的財政や他 府県との公平性が補助率五 〇%以下であることと考慮 され、補助率の引き下げによ り六億八千万円の庄瀬効果 があると試算している。	拡大した影響などで、九九 年度比十二億増の百三 十八億円と見込まれている が、補助率の引き下げによ り六億八千万円の庄瀬効果 があると試算している。	一方、所得制限によって は既に導入済みの老人医療 費以外を対象に、所得制限 導入への対策をより明確にし
---	---	---	---	---	--

るため、二〇〇一年度から  
の導入を目指す。  
道は当初、補助率引き下  
げは所得制限も二〇〇  
年度からの完全導入を指  
していたが、道議会や道庁

長会から「重症者補助率引  
き下げは市町村の財政負担  
が増える」との反発があり、

段階的引き下げなどの激  
減緩和を講じることにし  
た。

のは地方自治体でも同様ですから、  
将来、患者への自己負担が生じる  
可能性が大です。また道が来年度  
から所得制限を導入すると、地方  
自治体でも足並みを揃えるものと  
思われ、早ければ来年度から自己  
負担が生じる事も考えられます。  
道腎協ではこの危機的状況の中、  
道に対しこの補助率の引き下げに  
反対し、すでに皆様にお配りして  
いる請願署名活動を展開していま  
す。また各自治体に対しても、各  
地域腎友会で、要望書や請願に取  
組む様に働きかけています。札幌  
でも所得制限導入に反対する要望  
書を市に提出する考えでいます。  
**重度心身障害者医療費助成制度  
に自己負担（所得制限も含む）が  
生じると、合併症の多い私たち透  
析患者は、透析だけでなく、他の  
病気で他科にかかる時、その度に  
自己負担が発生する事となり、年  
間の医療費も大変なものとなるで  
しょう。**  
今回の道腎協の請願署名活動に  
も、皆さんが国会請願同様に積極  
的に取り組んで載けますようお願い  
致します。

(村本)

# キリン フェスティバル

七月二六日(日)、毎年キリンビール千歳工場で行われるフェスティバル(お祭り)会場に、大勢の千歳市民や近郊市町村の人々が、フェスティバルで一日を楽しもうとやって来ます。

当日は晴天で絶好の腎提供拡大キャンペーン日和となりました。参加者は道腎協、地域腎友会(札幌・苫小牧・千歳)、北海道移植者協議会、北海道腎バンク、市立札幌病院、移植コーディネイター等二十六名で午前九時に集合しさっそく準備に入り、次々と臓器提供意思表示カード、パンフレット、

ティッシュを一セットにして袋に持ち、会場入口付近に立ち意思カードの記入と携帯を呼び掛けながら手渡して行きます。

朝から太陽の強い照りつけで汗だらけで、何度も袋を取り替え、繰り返し意思表示カードを配布しました。

キャンペーンを通して皆の力や思いが道民の心を少しづつとらえ、腎提供者が少しでも増える事を祈りキリンビール工場(千歳)での腎提供者拡大キャンペーンを終了致しました。

(報告 柳沼事務局長)



## ●道腎協医療講演会(分科会)

# 難病連全道集会

## 札幌から6名参加

八月六日(日)道難病連全道集会が函館で開催されました。

道腎協では分科会を北海道教育大学函館校において、午前九時三十分から五稜郭病院の栄養士石津順子先生により「透析患者の食事について」の医療講演会がおこなわれました。

はじめに道南腎協桑島智義会長よりご挨拶があり、参加者六二名を歓迎致しました。

次に道腎協鈴木啓三会長より全道の患者が九、五〇〇名程になった事、現在でも透析患者は自己管理が八〇%透析治療が一、〇%をしめ、いかに自己管理が大事であるかをお話いただきました。

早速、医療講演に移りました。週三回透析患者の食事療法の原則、水分・塩分の工夫、タンパク質は適切に、エネルギーの不足に注意、ドライウエイトとたんぱく質・エネルギー量、低リン食の効



果や高カリウム血症の前兆等、透析患者にとって知っておきたい基礎知識など判り易く説明して戴きました。

善い中、道南腎協の皆さんの献身的な努力が実った医療講演会となりました。

午後より会場を総合福祉センターに移し全体集会の開会、アトラクション・患者家族の訴え・米賀挨拶・基調報告・集会アピールを終え全て終了致しました。

(報告 柳沼事務局長)



# 下の季節!!



## 炊事遠足 を終えて

九月三日午後二時四〇分「集いの森」からバスに乗り笑顔で手を振り帰路に就く会員を見送りながら七月二七日第一回準備委員会から始まった諸作業を思い浮かべ、

無事終了した安堵感と参加者にはおおむね満足してもらえたとの充実感を得ることが出来ました。この間一緒に頑張った各実行委員の皆様さん、又、助言協力をいただいた宮本さん・村本さんをはじめ事務局の皆様さんに感謝いたします。炊事遠足当日までの準備作業について簡単に説明します。

第一回の委員会では、行き先、行事内容、作業分担を決めます。これに従い八月はじめには案内状・ポスターを作成・発送し集計をします。集計された参加者を各班編成するとともに、雨天中止等に備え連絡網を作り各班長に配布します。

賞品・食器等の買い物も各実行委員が分担します。前日には野菜等生鮮食材を購入し各班毎に区分する等準備をし、事務局の方々の協力を得てそれぞれの車両に積載し当日を迎えます。事前準備も欠かせません。炊事場所の予約・腹膜透析患者のための加温器の設置（今年はバクスター社の協力を得ました）バクク交換の場所の確保等調整事項は数多くあります。滝野すずらん公園管理事務所は非常



# 澄みわたる秋空 今 快汗



に快く対応してくれました。  
今年も前日の作業は雨が降る中  
準備し、明日は晴れるよう祈りな  
がらの作業でした。

幸い当日は天気も回復し、今ま  
でで最高の一四〇人を越える参加  
者を得て、炊事広場での豚汁・ジ  
ンギスカンにお腹をふくらませ、  
「集いの森」に場所を変え広大な  
緑の芝生の中で、各班対抗で赤や  
青の巨大ボール（直径一メートル  
を超えるビニールボール）リレー  
や毎年好評の色水お玉リレーで大  
いに盛り上がり歓声を上げまし  
た。

この際、私の案内ミスで一部の  
参加者を別の場所に誘導してしま  
いゲームに間に合いませんでし  
た。お詫び申し上げます。

色々ありましたが無事終了しま  
した。終了の報告の場所を借りC  
APDの会員にお知らせします。  
今回も加温器やバック交換の場所  
を確保する等患者会の活動もC A  
PD患者が参加しやすい環境を整  
えつつあります。皆さんの積極的  
な参加を待っております。

（実行委員長 苅木 芳三）



色水をお玉に入れペットボトルへ(お玉リレー)



笑顔いっぱい!!

腹いっぱい!!



投稿

私の四時間



私は、比較的、楽天的な方だと思えます。

いつも何かが起きると、最初はくよくよ悩むのですが、そのうち、何とかなるだろうと、思えてくるからです。そんな私も、透析導入時は、一つ一つの注意事項が不安に変わり、落ちこんだものでした。

それから早いもので一年二ヶ月が過ぎました。厳しい自己管理が要求される透析生活の中で、最近私なりの四時間の過ごし方を見つけました。それは、ビデオテープを持参して、大好きな洋画を見る事です。ジャンルはさまざまですが、どちらかと言うとアクション、コメディイが好きなので、あ

沼澤 和美

(札幌厚生病院)

まりにも集中すると、おもわず声を出しそうになり、ハットする事もしばしばです。家に帰ると娘に感想を聞かれるので、居眠りする暇もなく時間が過ぎて行きます。そんなふう感じられるのも映画

を通じて、私なりに人生の教訓を少なからず得ているのかもしれない。

また透析を通じて、知り合う事が出来た同じ悩みを持つ方々や病院のスタッフの方々のアドバイスを頂き、導入時、悲観的になつていた自分が少しづついい意味でポジティブになり、透析生活に積極的に取り組む事が出来るようになりました。

投稿

日々、新たななり



白鳥 裕子

(いのけ医院)

透析を初めて九年月、なまいきな様ですが、ようやく自己管理が出来る様になりました。そうは言いながら、苦しんだり、悲しんだり、周囲の方々の助言やお力添えで、今日、元気に生活出来るよう

になつた事は、私自身の生きる事への貪欲さなのかも知れません。週三回の透析を受けながら、美容師という仕事を続けられた事は、先生初め、スタッフの方々の支援の賜だと、深く感謝する次第です。

透析を受けた事で、自分自身が人間として大きく成長したと思っております。

それは、苦しんだ分だけ、喜びと感謝の気持ち素直に出せる様

になつた事でしようか。普段見過ごして来た小さな出来事が、ハンディを背負つた事で、美しく素直な気持ちで受け入れられるのです。散歩しながら、花々に心が洗われ、月や星、川の流れにまで、感動し、生きて生活出来る事に、感謝の気持ちで一杯です。これからは、少しでも、喜びの気持ちを、仕事上にも役立て、お客様にも喜んでいただける様、頑張つて行きたいと思えます。

今日、あつた事、明日あるだろう事に、感謝と期待を抱きながら、毎日を大切に歩みたい、そして、新たな発見に挑戦してみたいと考える今日、この頃です。



# 平成12年度

## 第1回

平成12年7月23日(日)  
AM.10:00~PM.1:40  
北区民センター3階講義室

### 報告事項

出席者 三八名(委任状一六名)  
議長 伊藤 文夫(南一条病院)

(1) 札幌腎友会第二五回定期總會  
報告



- (2) 道腎協第二三回定期總會報告
- (3) 全腎協全国大会報告
- (4) 機関紙「生きる仲間」について
- (5) 以上について報告されました。
- (6) 組織強化検討委員会経過報告
- (7) ① 二種類のアンケート調査を予定しています。
- (8) ② 通院介護と通院交通費に関する調査。
- (9) ③ より魅力ある患者会にするために
- (10) ④ 透析導入前の患者さん向けに、パンフレットを作成する。
- (11) ⑤ 入会ご案内は来年に向けて検討し進めて行きます。
- (12) ⑥ 未加入病院の勧誘(訪問)は難しい問題です。加入率を高める為各施設のご協力をお願い致します。
- (13) ⑦ 活動マニュアルは基礎知識と患者さんの対応に利用頂ける様に作成します。
- (14) ⑧ 事務所移転等については継続審議してまいります。
- (15) ⑨ 花火販売・ピアガーデン利用券販売について(別掲)
- (16) キリンフェスティバルについて

### 第1回 幹事会参加者名簿

伊藤 文夫・岩館 二男・菫木 芳三  
川村 隆志・山本 光雄・前田 吉雄  
岡田 順子・近藤 眞江・堀井 和彦  
西田富美子・佐藤 範子・中村ひとみ  
宮本 好和・横堀 信雄・三上 照美  
雨宮 英子・正岡 正由・外崎 豊  
高柳 昌一・伊藤 邦夫・本田 敏  
棚田まゆみ・山田 悦子・鈴木 啓三  
佐藤 功・石井 典子・柳沼 正一  
梅田 明・棚田 英明・斉藤 好子  
中崎三津子・新井 静子・島山 正子  
高橋 弘・佐藤 朱美・南出 陽雄  
田中 孝幸・福原真理子 (順不同)

### の報告(別掲)

(8) 道腎協の重度心身障害者助成に関する諸願について

来年より助成に所得制限を設け実施する模様です。この様になれば実際に一百万円の負担、入院や他の病気(合併症)等になった場合二、三割の負担となる患者さんが出てきます。そんな事態にならない様に署名請願運動をして対応にあたりたいと思います。

(9) 有珠山義援金募金活動報告  
報告済み。

### ご意見

棚田氏(山島クリニック)  
○花火販売について毎年同じ物

なのでメニュー(種類)を変えてほしい。

伊藤氏(南一条病院)

○花火がしけているとの苦情が多い。

### 事務局

○花火販売については役員より難病連に伝えていただきます。

### 討議事項

- (1) 炊事遠足について(別掲)
- (2) 腎キャンペーンについて(別掲)
- (3) 難病連全道集會について(別掲)

(4) 全腎協の青年交流会について  
参加希望者なし。

**【ご意見】**

前田氏 (H・Nメディック北広島)  
○腎キャンペーン開催の効果 (反応) はどの様ですか。

高柳氏 (稲積公園駅前クリニック)



○全道の透析患者数 (会員数) と札幌の透析患者数 (会員数) をお知らせ下さい。

**【事務局】**

○平成一一年二/二/平成二二年七/八までに脳死者からの提供が八例あり、一般の方にも少しずつ移植に関する啓蒙がなされていると思われます。

○全道の患者数九、五一九名 (平成一一年末) そのうち会員数四、五〇〇名程です (現在)。

○札幌の患者数三、七二一名 (平成二二年三月) で石狩、北広島、恵庭市を含みます

○会員数は一、四〇〇名程です (現在)。

○札幌市のみの患者数三、二六四名 (平成二二年三月) です。

**勉強会 (グループ討論)**

テーマ 未加入患者への勧誘について



●薬の錠剤が色つきなわけ

昔は薬といえば粉薬がほとんどでしたが、今では錠剤やカプセルが多くなり、赤や黄色などカラフルな色がつけられているものもあり、服用するのに思わず考えてしまうこともあります。

これはあやまって服用するのを防ぐため、病気によっては二種類、三種類と同時に服用しなければならぬときもあり、同じ色のものだと混同してしまう場合があるからで、区別する意味で色をつけているのです。

この色づけは、食品に使われている色素と同じものですから心配はいりません。しかし近ごろでは、識別番号だけの着色されていない薬も増えていきます。

●穴あき トロイチの謎

カゼをひいたりのが痛いと きなめるトロイチは、なぜドロイチも最初は錠剤のような形をしていましたが、口の中で溶ける前に飲み込んでのどに引っかかり窒息する事故が起きてしまいました。そこで真ん中に穴をあけ、もし引っかかっても呼吸ができるようにしたのです。

●「土曜は半ドン」のワケ  
「明日は土曜日だから半ドンだ」と使いますが、このドンとはいったい何でしょう。

これはオランダ語の休日という意味するドンタクからきています。だから半ドンとは半分だけの休日という意味でいつているのです。(博多ドンタクも、そういう意味なのでしょう?)

# 頭に栄養と休養を!

## 透析食料理講習会

平成二二年六月一日

(土) H・Nメディック新

さつぼろ、北広島の患者及び家族を対象にして、

透析料理講習会が開かれました。主催は、医療法人H・Nメディックで、

平成二二年一〇月から始まり、現在まで六回開かれ、患者五人からはじまりました。

五回目は、塩分やカリウムが気になり、あまり作らないのではないかとされるカレーライスがテーマでした。そして、六回目は、初夏の時に暑さに負け、体調を崩すことがないように、また夏バテで食欲がなくなり体力



が低下しないように、夏バテ防止をテーマとして、夏バテ予防法を知り、夏のり切ろうと開かれたのです。

参加者は、頭をなやます食事づくりの情報をお互い交換し、確信にかけて解散しました。

今年初めて、透析セン

ター内の行事として、六

月二五日(日)に滝野すずら

ん公園において、炊事遠

足を行いジンギスカンと

豚汁をつくりました。

参加者は、患者五家族

一〇人、スタッフ四家族

六人の総勢一六人で行い

ました。六月一日(木)に集

まって、人数、食料、鍋

等の器材等の必要物品数

量把握を行いました。六

月一七日(土)に札幌腎友会の宮本宅

へ鍋等の器材を借りに行きまし

た。前日の二四日(土)には、材料、

食料等を買出しました。当日は、

滝野すずらん公園へ集合し、到着

早々食料の切り込み、かまどの用

意等、参加者の得意とする分野で

各々活躍しました。



自分たちで作ったジンギスカン

と豚汁はとても美味しかった。食

後に二班対抗の「ビンゴゲーム」

と「お玉色水ゲーム」を行いました。

初めての病院内の行事でした

ので準備が大変でしたが、来年も

何か、皆で出来る事を計画したい

と思います。

## 初めての炊事遠足

NTT札幌病院

# 鈴木啓三さん

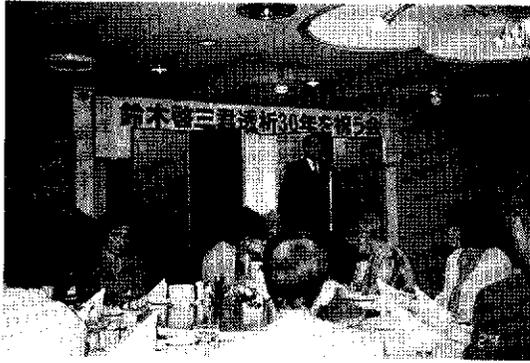
## 透析30周年を

### 祝う会開かる

札幌北  
クリニク

昭和四五年五月二日、札幌北クリニク院長の今忠正先生が岩見沢市立総合病院で、第一号の透析患者として治療を始められたのが鈴木啓三さん（現札幌腎友会・道腎協の会長）でした。

以来この五月一二日で透析人生三〇周年を迎えられ、札幌北クリ



ニクスの有志が発起人となり、院長・副院長先生を始め患者、スタッフなど合せて五〇名が、六月二日（土）午後五時三〇分より東急ホテルに於いて祝う会を開催致しました。

今先生からは当時は早朝から深夜まで透析に携わる時期が暫く続き、大変苦勞された事や、鈴木さんからは開始当時は現在のように医療費の助成など無く、助成されるまでの約一年半の間、実家の室蘭からお父さんが、毎月一五万、二〇万円の治療費を納めに来られた事などをお話しされました。現在私たちが、いかに恵まれているか、改めて痛感致しました。

祝う会は約二時間、料理やカラオケなどを充分堪能し、和気合々のうちに終了し、鈴木さんを目標に頑張ろうと、それぞれが誓い合い散会いたしました。

勤医協中央病院患者会「元気会」

## 炊事遠足六〇名で盛大に実施!!

七月二日（日）午前一〇時より、月の皆楽公園に六〇名の参加者は手荷物を持ち、予約してある「元気会」の場所に集合する。

六〇名の参加は「元気会」始まって以来の多人数であり、事故の無いよう最大の注意を払う。

六月二四日実行委員会を作り、その役割分担に従って、五つの班が連携プレーよろしく動いてくれた。先発隊の設営班、一五台の車輛に分乗し、追越し禁止の安全運転で一時間移動の輸送班、調理班は汗だくになりながら、肉コーナー、チャンチャン焼コーナー、四つのコーナー、あるだけの食べ放題、飲み放題、行事班前日の買物も含め大忙し。

楽しい一日とするため、ゲームあり、ギター演奏と全員

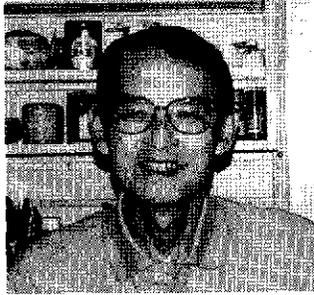
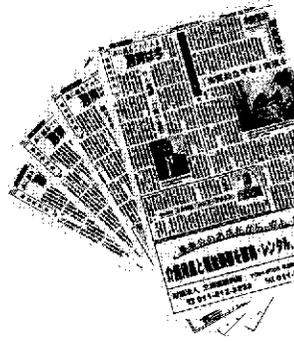
での合唱（ふるさと）で盛り上がる。写真班もみんなの「飲み、食べそして笑い」のスナップを撮るためにしきりにシャッターの音、全員で記念写真もとり、とにかく元気も味方して最高の炊事遠足を終了しました。

ごくろうさん!!



# 人生を翻弄された病に 難病は今

慢性腎不全



村本徳雄さん(48)も鈴木さんと共に札幌に来た

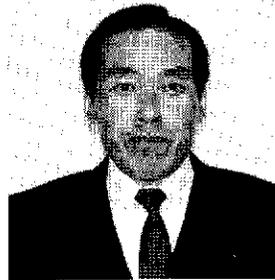
鈴木啓三さん(五〇)は当時、慢性腎不全と宣告され、病欠が続くまま室蘭工業高校三年になっていた。一九六八年のことだった。だが、高二もわずか一月席を置いただけ

た。だが、いつ終わるとも知れない闘病生活で、その夢はしぼんでしまった。むしろ自身の生死を考慮する時間の方が多くなってきた。「このままなら尿毒症で命を落とす恐れがある。透析を導入しましょう」

## 親元を離れて人工透析

(2)

う。今忠正医師が岩見沢で治療を開始したからだ。  
今医師(六六)は当時、米国に二年間留学し、最先端の透析技術を受けて帰国した。人工肝臓の研究目的で渡米したが、透析を受けながら社会復帰し、健常者と同じように働



北海道腎臓病患者連絡協議会  
会長の鈴木啓三さん

## けん怠感…17歳で宣告

(1)

「それが、まさか永い入院を強いられ、慢性腎不全で、生透析をすとは思わなかった」  
鈴木さんは当時、数週間後に迫った修学旅行までには退院できると確信していた。だがいつまで経っても退院は出来ず、修学旅行は過ぎた。  
入院一カ月後に、学校へ提出する診断書を医師に作成してもらった。病名はネフローゼ、慢性腎不全となった。

(後藤秀樹記述  
本稿は四回連載です)

「こんなひどい腎臓は見ることがない。直ちに入院しなさい」  
当時、七歳だった鈴木啓三さん(五〇)にとっては、いったい自分に何が起きているのか理解できなかった。いつもと違うけん怠感があつて町内の病院で診察を受けた。が、当時の医師は症状に驚き、市立室蘭総合病院

への入院を手配した。一九六七年、室蘭工業高校二年の十一月だった。  
鈴木さんは当時、朝目を覚ましても昼ぐらいまでひどいだるさが続き、一月ぐらい体がむくんでいた。楽しみにしていた一修学旅行までには治してしまおうと、休校の日に診察を受けた。

腎臓にある糸球体(ネフロン)は、一日一〇〇リットルぐらいとされる現尿から、本当に必要な成分を再吸収し、残りを尿として排出する機能がある。一日の排尿量は、一五〇〇〜二〇〇〇ccとされている。糸球体の機能が低下すると、体に必要な成分が体外へ排出されて、疲労感、けん怠感が増す。腎臓機能が低下すると排尿量が減少して、体内に水分がたまり、体がむくみ始める。

鈴木さんは高二ながらも、自身の長期入院に死の恐れを抱き始めていた。慢性腎不全の原因疾患は、①慢性糸球体腎炎の糖尿病性腎症②腎硬化症の順に多い。高血圧や腎結石などからも腎不全になる。二〇〇〇年の全国透析患者は一九七、〇〇〇人になる。日本透析医学会調べ。だが、一九六八年の全国透析患者はわずか二〇六人だった。当時、透析機器は限られた大学病院や大病院にしかなく、人工腎臓も普及していなかった。

で、退学せざるを得なかった。市立室蘭総合病院での入院生活は、そのまま、十歳まで続いていた。既に同級生は高校を卒業し、社会人として活躍している。自身も高卒後の職業や社会生活、結婚生活を考えたことはあつ

同病院の医師はそう勧めた。七〇年、北大や札幌医大では限られた患者が研究に協力する形で透析を受けていた。多くの腎臓患者に透析のチャンスは巡ってこない。ところが、岩見沢市立総合病院で透析を受けられるとい

いている姿に圧倒され、日本に米国の最先端の透析技術を持ち帰った。

七〇年、今医師と患者の鈴木さんはこうして出会った。当時、慢性腎不全は透析を導入しても二、三年で死ぬといわれていた。以来二〇年間、今医師の透析を受け続けている。

親元を離れた岩見沢での入院生活は、両親の家計を圧迫していた。鈴木さんは、いつまでも社会復帰できない自責の念に駆られていた。

今医師は米国で見つらぬ、透析患者の社会復帰を考えていた。職の多い札幌で開院し、岩見沢の透析患者を札幌で社会復帰させたかった。今医師の説得で、鈴木さんら七人は札幌に転移することになった。

# 勤め7年余、リストラに

(3)

慢性腎不全で透析を受けている鈴木啓二さん(五〇)が、今忠正医師の札幌北クリニック(札幌市北区北一八西二)に通院し始めたのは一九七五年だった。透析患者の仲間たちが、今医師をしたって岩見沢から札幌へ転移していた。

鈴木さんら七人は、同病院の近くに二戸建ての家を借り、共同生活を始めた。家賃や生活費を切り詰め、不安を解消し、何とか社会復帰したかったからだ。

七年からは、慢性腎不全などの内部疾患にも障害者手帳一級が交付された。医療費が両親の家計を圧迫することはなくなった。

「七〇年代は生きていくためだけの透析だった。だが、札幌へ来てからは、社会復帰のためのリハビリや生活を今先生に勧め

られた」

同病院には、北大を退官した清水清さん(当時六〇代)が、ソーシャルケースワーカーとして来ていた。透析患者の社会復帰へ向けて、生活相談、行政や企業などの調整に当たるためだった。

だが、病を抱えながらの自立生活には、病院生活とは異なる厳しさがあった。特に透析患者の食事制限はつらい。塩分・水分を抑えるのがきつい。

札幌で仲間と自立生活を始めた七五年九月、鈴木さんは初めて職に就くことが出来た。園科技工士の手伝いだった。その職は辛いことに八二年一月まで約七年半続けることが出来た。だが、園科医院の患者減少からリストラに合い、失職してしまっ

た。その後は、再度の社会復帰を目指して十数社を回り就職活動を続けたが、とうとう職には就けなかった。

採用を断られた最大の理由は、「透析をしている」ことだ。「透析で早退する。それはもう電話番号にもならないなあ」三時、四時で透析に行くなら、うちでは使えないよ。企業の面接担当者は、八〇年代に入ってもまだまだ透析患者に冷たかった。「それでもあきらめずに職を探し続ければ良かったんだが」。その後、鈴木さんは札幌腎臓病友の会の活動に入っていく。

札幌腎臓病友の会事務局のある喫茶クインテス(札幌市東区北18東1)



# 週3回4時間の厚い壁

(4)

慢性腎不全で三〇年間透析を受け続けている鈴木啓二さん(五〇)は、障害福祉年金と会社を経営する兄の援助で生活している。

「全国腎臓病協議会(全腎協)の働き掛けで、透析や闘病生活に対する国の援助が増えた。幸い働かず生きられる恩返しと考へ、友の会の活動に専念しています」

鈴木さんは園科技工助手の職を失った翌年の一九八四年に北海道腎臓病患者連絡協議会の活動に入り、現在は会長を務めている。

道内の透析患者は九、〇〇〇人ほどと推定されているが、同会員は四、五〇〇人。約五〇%の組織率となっている。全腎協の活動を通して、八一年には外来透析患者の給食費を国から援助してもらえるようになった。医療費自己負担分の軽減やJR・航空運賃の割引拡大、有料道路の身体障害者割引を拡大するなど、成果を上げている。

だが、透析治療は現在でも、一週間に三回、一回当たり四時間拘束されてい

る。透析病院は午前九時ごろから午後一時ごろまで治療に対応している。四時間の透析ということは、遅くとも午後六時には退社して病院に駆け込まなくてはならない。一回当たりの透析時間が五時間掛かっていた。昔前に比べると、条件は少し改善された。だが、現在の医療技術では四時間以上透析時間を短縮することは出来ない。

「透析時間に拘束されながらも、頑張って働いている人たちがいる」

鈴木さんはそう言って、社会の理解や協力を願ってやまない。

長年にわたる透析治療は、合併症を誘発させる恐れがある。尿毒素の一つであるアミロイドが関節などに蓄積され、痛みを生じる。札幌北クリニック(札幌市北区)院長で、透析治療に長年関わってきた今忠正医師(六六)は、「透析治療の今後の大きな課題だ」と言う。さらに腎臓機能の低下で骨の生成力が弱まり、骨粗しょう症になりやすい。

透析治療は依然、社会の壁、治療の課題を残している。(おわり)

この記事は『フロンティアタイムス』に八月四・五・七・八日と連続掲載されたものです。

# 花火販売結果報告

(平成12年度)

施設名	販売売上額	還元金
石狩病院	2,500	550
稲積公園駅前クリニック	7,100	1,650
H・N・メディック北広島	12,500	2,750
N T T 札幌病院	7,300	1,750
兼占循環器クリニック	5,400	1,200
芸術の森泌尿器科	5,400	1,250
札幌北クリニック	17,100	4,050
札幌北楡病院	23,600	5,300
札幌セントラルクリニック	13,800	3,350
ていね泌尿器科	21,200	4,750
田島クリニック	71,200	16,900
中野医院	9,200	2,050
はまなす外科医院	20,700	4,950
恵み野病院	2,400	600
宮の森記念病院	68,500	15,200
合計	290,900	66,300

# ビアガーデン利用券販売結果報告

(平成12年度)

施設名	販売売上額	還元金
うえと医院	5,000	500
勤医協中央病院	20,000	2,000
光星泌尿器科医院	20,000	2,000
札幌北クリニック	145,000	14,500
札幌北楡病院	50,000	5,000
田島クリニック	1,000	100
宮の森記念病院	10,000	1,000
渡井医院	20,000	2,000
合計	271,000	27,100

## 透析による副作用

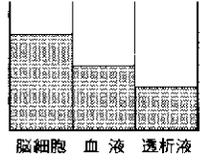
副作用の現れ方は、人によって異なりますが、ゆっくりとした透析で徐々に体を馴らしていくことでその症状を軽くすることができます。原因と症状をよく理解して副作用の予防に努めましょう。

## 不均衡症候群

透析導入期によくみられる副作用です。透析を行うと、血液の老廃物は急速にとれてきれいな濃度になり、老廃物がとれにくい脳との間に濃度差が生じます。つまり、濃度の高い脳は周囲から水分を吸い取り、むくんだ状態になります。不均衡症候群は、脳がむくみ、脳

## ●透析による体の変化

- 透析を行うと血液と脳の間で濃度差が生じ、濃度の高い脳に水分が吸収される。



圧が高くなるために起こります。症状は、頭痛、吐き気、嘔吐などですが、ひどい場合は、意識障害や痙攣が起こります。不均衡症候群は透析に慣れれば起こらなくなりませんが、まれに症状が継続する場合もあり、透析困難症と呼ばれることがあります。これらの予防には、水分、塩分の制限を守ることが大切です。

## 血圧降下

除水が急激であったり、大量に除水された場合は血圧が低下します。症状は、あくび、吐き気、嘔吐、頭痛、動悸、冷汗などですが、ひどくなると胸痛、腹痛、意識障害などが起こります。急激に血圧が下がることを「ショック」と言いますが、ショック症状が起きた場合には何らかの処置が必要です。予防には、体重を増やさないことが大切です。

## 穿刺部血管痛



穿刺針による血管壁の刺激、血管の狭窄、血管内異物の刺激、血管炎、血管

の収縮などで血管痛が起こります。血管炎以外は温湿布とマッサージで処置しますが、部位によって血管痛があれば、穿刺部位を変えてもらうことも大切です。

## 不整脈

心室肥大や動脈硬化のある人では、透析中に不整脈が起こることもあります。症状は脈が乱れ、胸がドキドキするなどです。また、血液中のカリウム濃度が高すぎたり低すぎたりすると不整脈がでやすくなります。予防には、血圧のコントロール、カロリー制限（高脂血症や肥満の予防）、カリウムの多い食品の制限、ストレスをためないことが大切です。

## ●不整脈を起こす要因

- 高カリウム血症
- 低カリウム血症
- 循環血液量の変化
- 虚血性心疾患
- 心室肥大

## 高カリウム血症



●カリウムの含有が高い食物をたくさん食べると、不整脈が起こる。

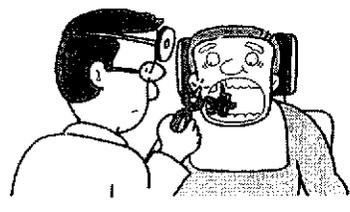
高カリウム血症（カリウム中毒）は、副作用というより恐ろしい合併症といった方が適切ですが、カリウムの含有が高い食物を過剰に摂取すると発生します。不整脈から心臓が停止して突然死の原因となることもあります。

## 出血の助長

血液凝固を抑える薬剤であるヘパリンの使用により出血（痔、牛理出血、鼻血、抜歯後など）しやすくなることにも注意しましょう。出血の危険の少ない血液凝固阻止剤もあります。生理や抜歯後で出血が気になる場合には、先生に申し出ましょう。

## その他

透析中に急に体を動かすと足の筋肉などがこわばったり、突っ張ったり、痛みとして感じられたりすることがありますので注意しましょう。



## 〈事務局活動経過報告〉

- 平成12年
- 6月8日 会費納入願い発送
- 6月22日 “どうじん” 79号発送  
組織強化検討委員会（入会のおしおり係）（クインテス4名）
- 6月27日 組織強化検討委員会（アンケート係）（クインテス5名）  
幹事会案内発送
- 6月29日 “生きる仲間” 53号発送  
組織強化検討委員会（幹事マニュアル作成係）（クインテス4名）
- 7月4日 ピアガーデン利用券販売
- 7月6日 難病連全道集会（函館）案内発送
- 7月6日 幹事会打合せ  
組織強化検討委員会（PR係）（クインテス4名）
- 7月8日 “ぜんじんきょう” 180号発送
- 7月9日 幹事会打合せ、組織強化検討委員会（北区民センター16名）
- 7月23日 第1回幹事会（北区民センター38名）
- 7月27日 炊事遠足実行委員会（クインテス9名）
- 8月3日 炊事遠足案内状発送  
腎キャンペーン実行委員会（クインテス10名）
- 8月10日 幹事会報告発送
- 8月24日 腎キャンペーン案内状発送
- 8月31日 組織強化検討委員会アンケート発送
- 9月7日 “ぜんじんきょう” 181号発送
- 9月10日 腎キャンペーン（大通り西3、4丁目）

## ■事務局だより■

- ◎全腎協の第30回国会請願署名募金運動とJPCの国会請願署名募金運動にご協力下さい。全国で100万名、札幌では2万名を目標にして頑張りましょう。
- ◎難病連への協力事業である花火販売と大通ピアガーデン利用券の販売にご協力いただきありがとうございます。
- ◎難病連からのお正月飾りの販売あっせん事業が始まります。
- ◎ハガキ等をご寄附いただきました。大切に使用させていただきます。ご協力ありがとうございました。（敬称略）

### 渡井 医院

竹内 知子（文カード）

### 稲積公園駅前クリニック

坂本 ウメ子（切手）

### 仁愛会外科クリニック

中崎 美津子

岩部 浩子

### 三樹会病院

佐々木 進

- ◎ご寄附を頂戴致しました。

会活動に役立たせていただきます。ありがとうございます。

中野幸雄先生（中野医院） 20,658円

## 編集後記

皆さん、お元気でしょうか。残暑が続いたり、急に寒くなったりと、体調を崩されている方もいらっしゃるのではないのでしょうか。

私ごとですが、透析一七年目にして初めてハワイへ行ってきました。四泊六日で、仲間と久しぶりに自分の時間を楽しみ、何事もなく透析を受けてきましたが、このように私達が今、数多くの医療・福祉制度の恩恵を受けていられるのも、先人患者達の活動のおかげだと改めて感謝の気持ちで一杯になりました。しかし、それも少しづつ脅かされようとしています。先日、道への「重度心身障害者医療費助成事業に関する事」の請願署名がありました。この後、国会請願署名活動も始まります。果たですか!!と思わず、皆さん一人一人が、誰のためでもなく、自分のために行っている手を忘れず頑張りましょう。

（典）